

# 魚の町



## 伝統に忠実な 1.2回転半の美しい船まわ

### 川船

市民会館が建つ中島川沿いから電車通りを挟んで市立長崎幼稚園あたりまでの広い町域の魚の町。昭和38年に4つの町が合併してできた町です。演し物は合併した町のひとつ今魚町（いまうおまち）の演し物を継承し、川船を奉納しています。

7月28日、魚の町内の格納庫で、川船の調整が根柢衆をはじめ町の皆さんで行われました。魚の町の川船は昭和30年製造。調整は、船体の表面を削り、楽器を据えるための金具、大鐘、小鐘、照明の配線などを取り付け、稽古ができる状態にします。その後、本番までに干網（ほしあみ）などの屋根飾りが取り付けられ、完成となります。

川船を町内で調整できるのは、金物屋さん、電気屋さん、彫刻屋さんなど町内に専門職の方がたくさん居住する魚の町ならではの！



### 【知ってク情報！！】

- 10月3日の庭見せ（町内の11箇所）は必見です！
- 魚の町の傘鉾の飾（だし）は長崎ビードロの逸品で長崎市指定有形文化財に指定されています。
- 長崎刺繍の飾り船頭の衣裳も豪華絢爛！貴重な衣裳なども披露されますのでぜひご覧ください

### 魚の町青年部 まつもと ちかこ 松本 千賀子さん



魚の町青年部のフェイスブックで稽古風景などを掲載し、情報発信にも力を入れています。「青年部の魚の町を想う気持ちは熱いです！」と松本さ

今回、長采として川船を指揮する小西さん（魚の町青年部部長）から、魚の町のくんちの記録を残したいとの声を受け、青年部の女性2人が引き受けました。そのうちのお一人が松本さんです。

6月1日の小屋入り以降、川船の調整から稽古、本番まで、次に踊町を迎えたときに困ることがないように、写真や動画を撮り、記録を残しています。「現場で気付く些細な疑問も遠慮なく聞いています！」と松本さん。女性ならではの目線で7年後の奉納を見据えて奔走します。「青年部に入ったことをきっかけに、くんちに関わることができて、とても嬉しいです。魚の町はパワフルな人が多くて楽しいですよ！」と笑顔で話してくれました。

青年部では、子ども達との活動も盛んです。中島川夜市やハタ揚げ、芋掘りなど、その年にできることを

## 令和元年 くんち瓦版 9月号 長崎くんちの舞台裏

発行：令和元年9月11日  
長崎市地域支援室  
（中央地域センター内）  
長崎市桜町2番22号  
TEL 829-1418

長崎市のHPに「くんち瓦版」を掲載しています。→



～今回ご紹介する  
くんちを支える人たち～

- 1 玉園町  
玉園町自治会副会長 金出 政人さん
- 2 伝承したい長崎の技  
長崎刺繍 嘉勢 照太さん  
「長崎刺繍」再発見塾の皆さん
- 3 魚の町  
魚の町青年部 松本 千賀子さん

くんち本番が近づいてきました！各踊町は稽古の大詰めを迎えます！！くんち瓦版では、くんちを通して地域を支える人々にスポットをあて紹介しています。これまで取材にご協力いただいた皆さま、お忙しい中貴重なお話を聞かせていただき誠に

### 玉園町

たまぞのまち



### 獅子踊

### 型にはまらない暴れ獅子！

昭和38年に3つの町が合併してできた玉園町。諏訪神社が鎮座する玉園山の近くにある町ということで玉園町になったと言われていします。長崎歴史文化博物館から聖福寺への通り沿いに位置しています。玉園町となってから本踊を奉納したこともありましたが、昭和58年からは長与町の吉無田獅子舞保存会による「獅子踊」を演し物とし、今年で6回目となります。

### 玉園町自治会副会長 かないで まさと 金出 政人さん



くんちグッズで寄付を募るなど新しいことにチャレンジしています！

北九州市門司区生まれで玉園町に住み始めて10年の金出さん。庭先まわりのルートを決める帳面方（ちょうめんかた）を取り仕切る大事な役目を担っています。前回の奉納後、庭先まわりをよく理解しておきたいとの思いから他の踊町を加勢人（かせいにん）としてお手伝いしてきたそうです。そのご縁もあり、今回は他町から大勢の加勢を受け、「感謝の気持ちでいっぱい。」と金出さん。

ご自身が副会長を務める自治会の活動も活発です。年に2回の聖福寺での祭りや年末の夜警などを実施し、子ども達に町の歴史を伝える貴重な機会となっています。

長与町の吉無田獅子舞保存会に奉納を依頼する玉園町ですが、前回の奉納の翌年から、吉無田郷の方々とは毎年交流会を開催しています。くんちを越えて親睦を深めてい



玉園町の子ども達も奉納踊に参加します。夏休み期間中は週に4日の稽古に励みました。



精霊船を出せない町も増えてきた中、玉園町ではご近所の町の青年会と協力して、楽しみながら「もやい船」を作りました。

長崎くんちに関するお問い合わせはこちら  
長崎伝統芸能振興会（長崎商工会議所内）  
長崎市桜町4-1 TEL095-822-0111



踊町の情報やくんちのスケジュール、鑑賞券の情報が掲載されています。

## 伝承したい 長崎の技☆

# 奉納踊の中で生きてきた美しき長崎の宝 「長崎刺繍」

長崎刺繍は17世紀後半（江戸時代）頃、長崎市内に居住していた唐人によって伝えられた技術が長崎に定着したものといわれています。くunchiでは、長崎刺繍が施された豪華な衣裳や鮮やかな傘鉾の垂れなどを見ることができます。一時衰退しかけた長崎刺繍の技術を復活・継承された「長崎刺繍」技術保持者・嘉勢照太さんと、長崎刺繍の保存と発展に貢献する「長崎刺繍」再発見塾のみなさんをご紹介します。

## 長崎刺繍の技術を受け継ぐ唯一の職人 嘉勢 照太 (かせ てるた) さん



### プロフィール

- 昭和 26 年 長崎生まれ
- 昭和 57 年 東古川町の八田刺繍店弟子入り
- 平成 7 年 長崎刺繍工房として独立
- 平成 14 年 「長崎刺繍」再発見塾開講
- 平成 22 年 県指定無形文化財「長崎刺繍」技術保持者認定
- 平成 26 年 長崎県地域文化賞受賞



一刺し一刺しに気が入ります。全ての工程が楽しいと嘉勢さん。



嘉勢さんが補修を手掛けた飾り船頭の衣裳です。銀細工やガラス細工が施され、豪華絢爛、贅沢の極み。くunchiの華やかさを彩る長崎刺繍です！！  
現在、着用はされていませんが、「長崎刺繍」再発見塾の活動などで披露され、間近でその美しさを見ることができます！！

江戸時代、長崎には絵師や縫師、銀細工職人、吹きガラス職人など多くの職人がいて、海外との交流によって伝えられた最新の芸術文化や技術に加え、貿易による町人たちの経済力によって煌びやかな長崎刺繍が生まれました。まさに、長崎独自の歴史や文化を色濃く反映した伝統工芸です。

現在、長崎刺繍を継承する職人は嘉勢さんお一人。元々、長崎刺繍は下絵を描く絵師と、下絵をもとに作品を仕上げる縫師が分業して一つの作品を作っていましたが、嘉勢さんは絵師と縫師の役割を一人で担います。制作は全て手作業です。これまで、嘉勢さんは各踊町の傘鉾や衣裳の復元、新調に数多く取り組まれており、嘉勢さんが手掛けた作品は毎年くunchiで見ることができます！「長崎刺繍は、躍動感あふれるデザインだけれども庶民的。それでいて上品さも持ち備えます。長崎ならではの華やかさがあるんです。」と長崎刺繍

### ☆今年のかunchiで披露される長崎刺繍をご紹介

- ▶ 「魚の町」・・・「川船」飾り船頭衣裳※明治31年に奉納したときの衣裳を参考に平成24年に新調したものです。
- ▶ 「籠町」・・・「籠踊」宝珠衆衣裳背刺繍※嘉勢さんがデザインから考案し、平成24年に新調したものです。3点制作しています。
- ▶ 「籠町」・・・傘鉾の輪の宝珠・双龍

### ☆来年の長崎刺繍も見どころ満

万屋町傘鉾垂れ「魚尽し」は、鯛やえびなど16種29匹が刺繍されています。足かけ13年！嘉勢さんが復元新調した大作です！お

## 『細く長く楽しく』を合言葉に！！「長崎刺繍」再発見塾



塾長の嘉勢路子さん（右から3番目）と塾生のみなさん

後世に残る作品に携わらせていただいととても光栄です。補修の作業をしていると、江戸時代の絵師や縫師の職人さんと会話をしているような気持ちになります。（塾生の声）

長崎刺繍の職人が一人しかいない中、長崎刺繍を再発見するため、平成14年に「長崎刺繍」再発見塾が発足しました。現在は、長崎歴史文化博物館内の体験工房として、一般市民から募集した20代から80代までの塾生32人がボランティアで活動しています。講師は嘉勢照太さん、塾長は奥様の嘉勢路子さんが務めます。塾長の路子さんは「長崎刺繍は長崎の宝。守っていかないといけない。プロではないが趣味でもない。今、自分達にしかできない事をやっている。」と話します。嘉勢さんの指導を受け、地道な活動を続けた結果、くunchiにも貢献できる

### ☆塾生の力を結集した作品をご紹介します

- ▶ 桶屋町傘鉾垂れ「十二支」（市指定有形文化財）復元・・・8年の歳月をかけて延べ108人の力を合わせた最高傑作です！！
- ▶ 出島絵図刺繍・・・3mの長さで3年がかりで完成！
- ▶ 明治期の飾り船頭衣裳補修
- ▶ 唐人船飾り船頭衣裳新調
- ▶ 出島町傘鉾垂れ補修 など



### ☆夏休み子ども刺繍体験



子ども達に長崎の宝長崎刺繍を知って欲しい！と始まった「夏休み子ども刺繍体験」（長崎歴史文化博物館にて）。今年14年目を迎え、夏休み恒例の人気体験教室となっています。昨年からは「親子刺繍体験教室」も開催しているそう！！塾長のお話真剣に耳を傾ける子ども達。十二支の刺繍にも釘付けで



昨年作った桜は大切に飾っています。2回目だったけど、立体的に刺すのが難しかったです。刺繍は楽しくて大好きです！！（体験した小学生の声）

### 【知っトク情報！！】

9月27日（金）（18：30～19：30）長崎歴史文化博物館にて今年のかunchiにおける長崎刺繍の講話会が行われます！貴重なお話を嘉勢照太さん、路子さんから直接聞ける絶好のチャンスです！！